



平成28年11月11日

各位

会社名 ニッケ（日本毛織株式会社）
代表者名 取締役社長 富田 一 弥
（コード番号 3201 東証第1部）
本社所在地 大阪市中央区瓦町3丁目3番10号
問い合わせ先 執行役員経営企画室長 岡本 雄 博
（TEL. 06-6205-6610）

「RN130第1次中期経営計画（2017～2019年度）」の策定について

ニッケグループは、「RN130第1次中期経営計画（2017～2019年度）」を下記のとおり策定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 本計画策定の背景

2009年度よりスタートした前中長期ビジョン（NN120ビジョン）では、全ての事業を「本業」とし、「前の年より少しでも成長を」を目標に掲げました。結果、その総仕上げとなる「2013～2015年ニッケグループ中期経営計画」においては、目標である連結売上高1,000億円以上、営業利益70億円以上、当期純利益40億円以上のそれぞれについて達成し、6期連続の増収増益を果たしました。

一方で、ニッケグループを取り巻く経営環境は大きく変わりつつあります。2016年1月に公表しました新中長期ビジョン「リニューアル・ニッケ130ビジョン（RN130ビジョン）」では、経営理念である”情熱と誇りを持ってチャレンジしていく”次なる目標として、今後10年間のニッケグループの目指す方向性、企業像、経営戦略を再構築し、中長期的な企業価値の向上を目指すことを謳いました。

今回策定しました「ニッケグループRN130第1次中期経営計画（2017～2019年度）」はこのRN130ビジョンを具現化するためのフェーズ1と位置付けております。

2. 基本方針（RN130ビジョン）

<経営理念>

”人と地球に「やさしく、あったかい」企業グループとして、
わたしたちは情熱と誇りをもってチャレンジして行きます。”

- 未開の分野に目を向け、「高機能商品」「地域NO.1サービス」の開発と提供へ挑戦し、みらい生活創造企業を目指します。

3. 基本戦略

（1）成長事業と新規事業への資源の重点配分

- ・衣料繊維事業における機能素材の拡大
- ・ライフサポートビジネス（介護、保育、キッズ、健康・スポーツ関連）の拡大
- ・Eコマースビジネスの拡大
- ・自動車関連事業の拡大

- (2) 海外ビジネスの拡大
 - ・海外拠点を活用した事業拡大
 - ・制服ビジネスの海外展開
 - ・産業機材事業における海外生産・販売体制の確立
- (3) 資産効率の改善
 - ・遊休地（社宅・工場跡地など）の再開発
 - ・低収益事業用地の再々開発
- (4) 事業部内再編によるシナジー効果の創出

4. 数値計画（2019年11月期目標）

売上高	営業利益	親会社株主に帰属する当期純利益	ROE
1,200億円以上	90億円以上	63億円以上	7.0%以上

5. 各セグメント別事業戦略

<衣料繊維事業>

既存事業では収益体質を維持しつつ海外展開を拡大します。加えて2016年度に新たに戦略に組み込んだ新規事業を発展させ、売上・利益の拡大を図ります。

- ① 既存事業の維持・拡大
 - ・戦略商材「MIRAI Z」（NAGARAGAWA系使用）の拡販
 - ・機能素材による欧州・北米向けテキスタイルの販売拡大
 - ・ビジネスユニフォームにおけるオリンピック特需の獲得
- ② 新規市場の創造
 - ・機能素材の拡大（防災素材・防刃素材等）
 - ・海外向け売糸事業及びユニフォーム販売事業への取り組み
- ③ 製造力・開発力の強化

<産業機材事業>

海外における生産・販売体制の構築を行い、ニッチな市場でのシェアNo. 1と収益向上を目指します。

- ① 産業用資材
 - ・車両用における海外拠点を活用したデリバリー・品質・コストでの優位性の確保
 - ・環境向けにおけるアジア市場をターゲットとした開発・製造体制の強化
 - ・医療・工業分野などの高付加価値品の開拓
- ② 生活用資材
 - ・マーケティングによる国内市場のシェアアップ
 - ・スポーツ分野における「ガットのゴーセン」ブランドの確立、海外展開
- ③ 産業用機械
 - ・国内製造を軸とした精度と耐久性の向上、海外向けの設計・サービス・コストの実現

<人とみらい開発事業>

地域のニーズを捉え、具現化し、地域に住む人々の生活や心に元気、豊かさ、幸せを提供し、未来を創り出していきます。

- ① 不動産事業
 - ・グループ内共同プロジェクトによる新規事業立上げ
 - ・遊休地の再開発

- ② 商業施設運営事業
 - ・ ニッケパークタウン、ニッケコルトンプラザのリニューアルによる顧客満足の上
- ③ スポーツ事業
 - ・ 健康をテーマとしたスクール事業の展開
- ④ 介護・保育事業
 - ・ ニッケファンが多い所有地をベースにした拠点開発
- ⑤ 通信・新規サービス事業
 - ・ フランチャイズ事業、キッズ事業（屋内型会員制遊園地）の新店出店による拡大

<生活流通事業>

既存の事業の枠に捉われず、自由な発想で新規事業を発掘・開拓し、異業種分野にも積極的に参入していきます。

- ① 各事業セグメントの拡大
 - ・ 新たなM&Aを実施しながら、それぞれの事業セグメント（生活関連商品、ホビー関連商品、Eコマース事業、物流、保険代理店業など）における拡大を目指します
- ② Eコマース事業
 - ・ 新たなグループ会社「ナイスデイ」「ミヤコ商事」をEコマース販売のプラットフォームと位置付け、併せて新たな物流拠点を確立することにより収益拡大を目指します
- ③ 新規事業の発掘
 - ・ 川上から川下までの領域で将来性、社会貢献性の高い事業を広範囲に取り扱います

6. 資本政策・株主還元について

- (1) 成長投資と安定的な株主還元のバランスを志向いたします。
- (2) 成長投資については、研究開発投資、M&A投資、設備投資、人財投資など、中長期的な企業価値の向上の観点から積極的に実行してまいります。
- (3) 株主還元については、減配しない安定的な配当政策を継続、配当性向30%以上を目指し、利益水準に応じて配当を引き上げてまいります。また、自己株式取得を含む総合的な株主還元を充実させてまいります。

7. ニッケグループの持続的な成長について（RN130ビジョン）

ニッケグループは、全てのステークホルダーにとって価値ある企業を目指し、「前年よりも成長する」という地道な積み重ねを行っていくことが大切だと考えております。そのために、グループの各事業が、理念に示した「みらい生活創造企業」にふさわしい、魅力的な事業を創造することを目標としてまいります。

本中期経営計画に関する詳細につきましては、下記当社ホームページに掲載しております。

ニッケグループウェブサイト<<http://www.nikke.co.jp/ir/index.html>>

以 上

(注) 本資料中に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。